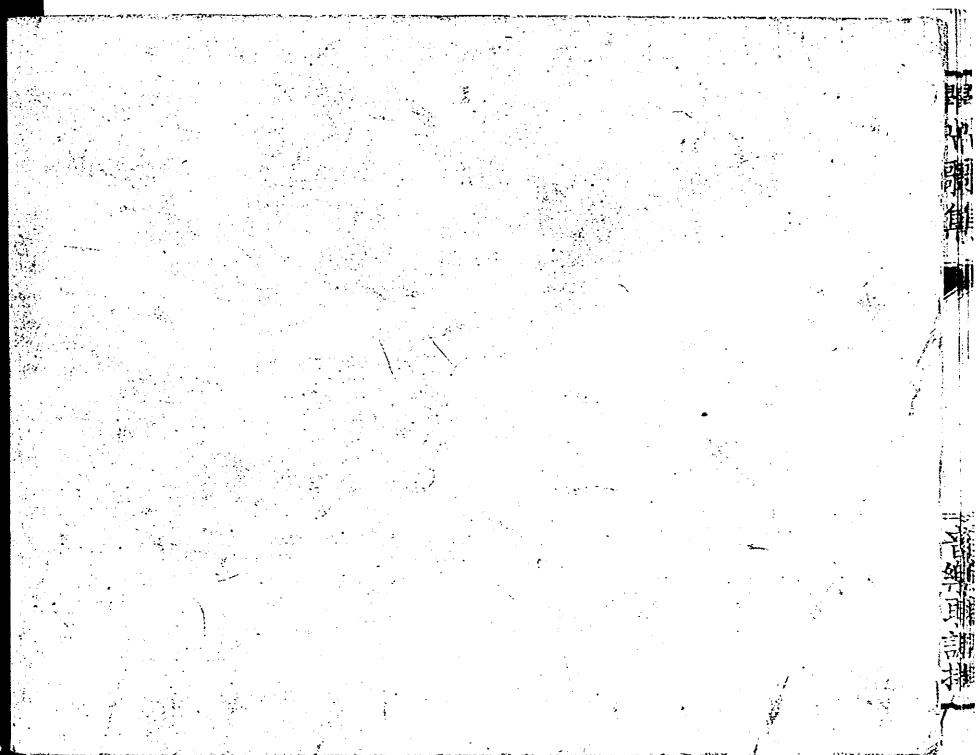
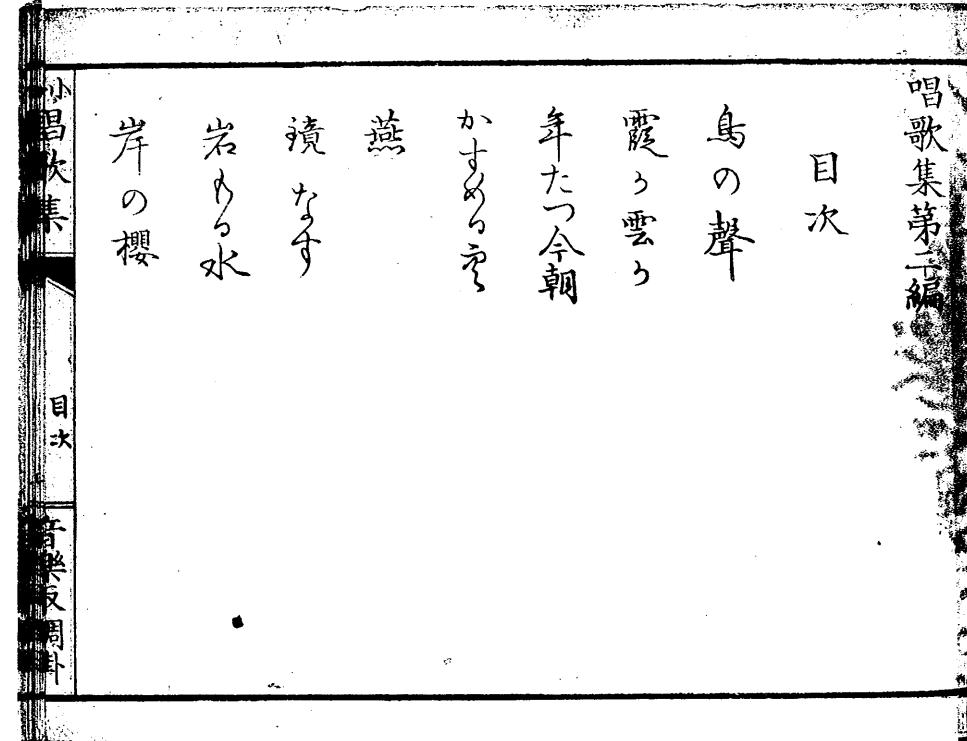


小唱歌曲集 第二編





遊 猿

渓谷の奥

皇御園

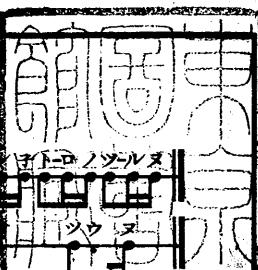
紫雲流派

五日の風

天津日嗣

太平の曲

御寺の鐘の音



表名 拍

$\frac{4}{4}$	タ	テ	ト	ソ					
$\frac{4}{4}$	タエ								
$\frac{4}{4}$	タエオウ								
$\frac{4}{4}$	タラ	テ	レ	ト	ロツ	ル			
$\frac{4}{4}$	タ	テ	レ	ト	ツ	ル			
$\frac{4}{4}$	タダラナ	タデ	レ	チ	トド	ノ	ツ	ル	ス
$\frac{4}{4}$	タサザ	タセ	セ	セ	トソゾ	ツス	ス	ス	ス



第三十四

第三十五

第三十四 トリノコエ

一 ちの都。あとの花。みつて。
うすく。の。う。あ。う。日。や。
二 むの都。の。ま。み。う。て。
ゆく。き。う。う。月。の。や。

第三十五 カヌスモ

一 うすみの。け。ゆ。や。う。
うかく。ほ。の。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。

二 かすみ。れ。を。う。う。う。
涌。ぬ。あ。き。う。ば。う。
う。う。う。う。う。う。

三 うすみ。それ。み。ね。ば。う。
な。う。う。う。う。う。

第三十六

第三十六年三月

—
—
—

いや、そこひどい。なんでもない。

のじけき春ノ。はやくわめきバ。

やまべる。おひでる。山にゆく。

同 繰き

The musical score for 'Koto no Yume' features four staves of music in G major, common time. The lyrics are written in Japanese below each note. The lyrics are:

かのじよひのう。たのむはく。おもひよひ。
かのじよひのう。たのむはく。おもひよひ。
かのじよひのう。たのむはく。おもひよひ。
かのじよひのう。たのむはく。おもひよひ。

同 繰き

三 かのじよひのう。たのむはく。過がて。

秋風さわへ。身にぞ一せ。

すいむねを。おるがさへ。

あそびあそび。かくねをきけば。

わきわきおいの。おいかわせよ。

まわせ道。いそ。

手代なう。月をめれば。

まうかのう。月をめれば。

ちうかのう。月をめれば。

きとめらう。月をめれば。

かうう代い。月をめれば。

かうう代い。月をめれば。

四

第三十七

第三十七 かきらき



第三十七 かきらき

一
かすらるそらふ。面ふきも。
まあとさきに。うるほひぬ。

二
類きの。たかのやま。
山の端もきも。つきま。

三
ちからくまむ。かくま。

たぐひうね。秋の葉あらむ。

第三十八 燕

一
よや。よく。よく。よく。
おやむひき。ひひ。おやむひき。
あみ。その巣をいで。
とやき。園道ふ。あやわらか。
啼え。よめうや。わざや。
うつう。うるや。つむく。
さかげ。うごきす。

二
よや。よく。よく。よく。
あみひき。おひき。あみひき。
いねをせず。涼山をいで。
都せそらふ。あらそら。
なせき。わざや。

第三十八 燕

1コヨヤコヨ ヤコヨツバクラメオヤセヒ
ヌキなけきなけやまねとと一ぎす一われも
ナモ ピ子モスーカタリタノシ云シソノスライデテトボキ
とも よはぶもーすのらいねもせすみやまをいーでてみや
クニベニタチワカルートモー カヘリコヨヤ
とのせらになかねとと一ぎス一 なれなれ
ワガヤドニ一 カヘリコヨヤツバクラメー
わびやどに一 きなけきなけ れととぎす一

日本高集

音楽用語

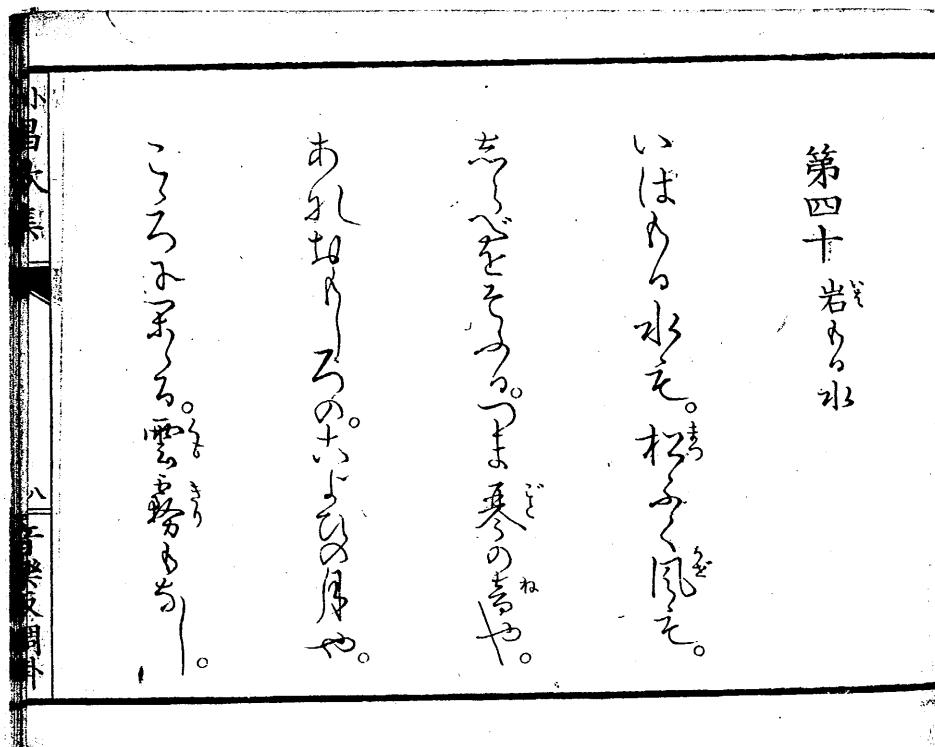
第三十九 鏡草す

第三十九

一
かみます。水色のうげ
うつる。梅の緑の枝をだき。
新葉で、風新柳の髪を梳り。
水浴て、浪舊若の髪を洗ふや。
あ小舟の景をやむ。
くよおり、泣け、だま。

二
津らす。撫支とくわく。
そぞり。やすのおくわ。タヤヅキ。
うちさう算す。おさき。風をやぐ。
撫づる紫す。かきくさぶ。花をたどる。
げりゆうの。あーがやし。

カガミナー ス ミヅモニドリノ カゲウツル ヤナギノイトノ
スふるゆきーに きこての みーちも うもれけ 里 みやまの おらの
エダラタレ キハレー テハカゼシンリウノ カーミヲ
ゆふまぐれ あざせあさには あげもーなーき つーきを
ケヅリコホリキエテハナミキウタイノヒケラアラフトカヤ
セドレにななるしばにはモーをらざるーはなをたをるとモヤ
ケニオモシロノケシキヤナゲニオモシリノケシキヤナ
ケにおもしろのけしきやなげにおもしろのけし



第四十

イア ニハ モオ ルモ 三一 ゾモノ
マコ ニツヨ フセニ クノカツ ゼキ モヤ
シニ ラコ ベニ ラニ ソカ 一カ フル
ツク ニマモ ゴトリ ノモ 二ナ ヤシ

學唱歌集

音符耳詠

第四十一 岸の櫻

一

岸の桜乃。ちよざくら。ちよざくら。

水のそよぐ。白い。かき。

すみづの川。うきせく。

漕や。たまご。花ひうがく。

重すきを。うきに。うあれーて。

こぐや。あよ。かすみの海。

二

秋の夕紅。さやけよ。原野あ。

水うち。そよぐ。白い。づく。

鴨川の川。うはせ。浦の原。

こぐや。小舟。ひきふう。うき。

棹う。せうばく。の。うきと。うき。

葉みー。じよ。じよおしま。

第四十一

1 キシノサクラノ ハナサクサカリハミヅソフニモシ
ルあきのものなーの きやけきつ きよはみづのそこにーもし
ラクモカカレリスミダノカハーノカハノセクダーシコ
ラタマシブメアズミだのあはーのあはのせの不ーしこ
グーヤラブーナハナニウカレー テクセニサヲサーシカ
ベーやをぶー林つきにうあれーて きをのレズムーの
スミニナガシテコグヤクモキーニ カスミノウミー二
カミモキナガラまたましらたーましらたままたーま

一
さあ、うるわしく、うらばるうらうり。
をのへにとよむ。矢弓のひき。
泳てよ廊を。てごまにー?。

いさみふいさむ。若葉の花。

二
革毛の馬。うづけ。鞍。せん。

あづきの真ら。すにうやまあづ。

みうきたす。まくらがれや。
夷。猪。あわざる。うれい。

第四十二 遊獵

第四十二



一
みだのやうの花のあさき。
うづまく風のうづまくのよ。

二
おねむよよぎて。おの代うぎ。
おねむよよぎて。おの代うぎ。

三
よがる浪のよがる風あさき。
よがる浪のよがる風あさき。

第四十三 みだのやう

第四十三



くにかわくにかわくにかわくに。

世のあははははははは。

たわまむをきぬ。くろひら。

二 皇 僭 國 そ。をのこらも。

おと頼 ちふ。つみす。

あ 身 こわてる。まくら。

い わが 事 きの ほじめ ばき。

一 すめらみくに。さのくわ。

第四十四 皇御國

第四十四



二
惠を涼き。かみのわく。こまつ
さかあ。ふか。かわく。ちはやぶ。
神の涼き。かみのわく。こまつ
さかあ。ふか。かわく。ちはやぶ。

一
かわく。時代。うすす。うへ
神の涼き。かみのわく。いざやく。神の涼き。
ゆめわすき。ゆえく。ゆめわすき。
ゆめわすき。時間。ゆめわすき。
神の涼き。かみのわく。ゆめわすき。
ゆめわすき。ごがのまき。

第四十五 紫行く時代

第五五

1. サカユクニヨニウマレシモーオモヘバカミノメグミナリ
グミもふろきのみのまをのさあきとあおちて
2. イザヤコラカミノメグミヲエメナワスレソユメナワスレソユ
ちはやぶるのみまをにうたひまはましらたひまはましら
3. メナワスレソトキノマモイザヤコラカミノメグミヲユ
たひまはましよもすびら
ちはやぶるのみまをにう
4. メナワスレソユメナワスレソユメナワスレソトキノマモ
たひまはましらたひまはましらたひまはましよもすびら

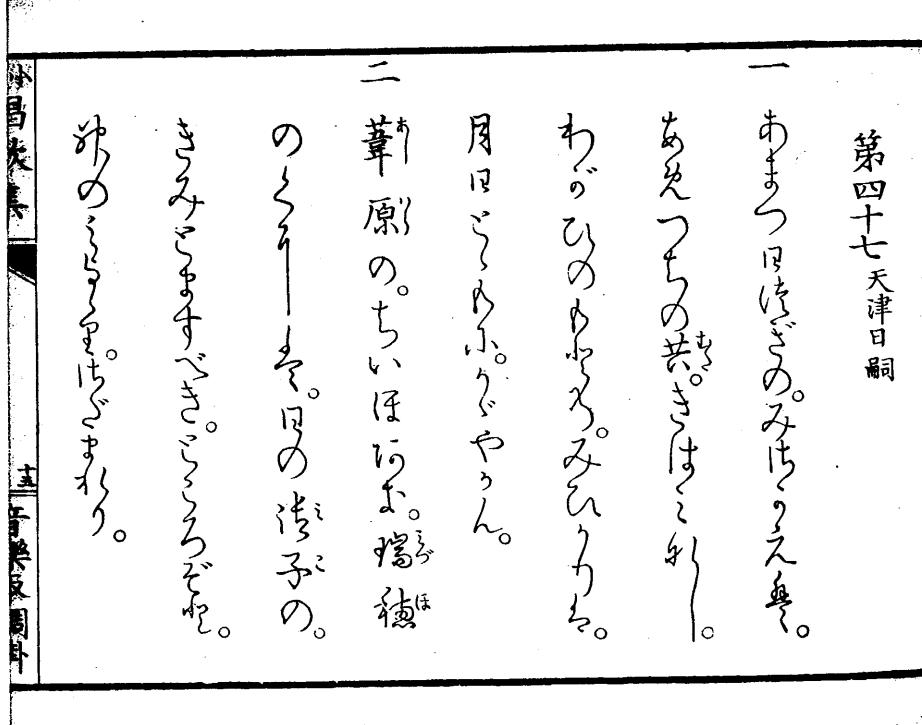
第四十六 五日の風

一
いつの風。いのり。も。
時々。わざみ。世や。
に。の國。も。康百濟。

二
お。葉。の。く。に。そ。
わ。の。代。を。く。ら。う。代。や。
め。き。を。代。と。く。ら。う。代。や。

第四十六





第四十七

天津日嗣

アマツハマミ。ミヅクエ。
アメツラノコ。アハク。
アシナシノ。ワガセノモトタキ
ミナシ。ツキヒビトノトモニ
ハト。ツキヒビトノトモニ
アマツハマミ。ミヅクエ。
アメツラノコ。アハク。
アシナシノ。ワガセノモトタキ
ミナシ。ツキヒビトノトモニ
ハト。ツキヒビトノトモニ

代ハ百二十。功績ありげ。
立づまよはぬ。年ハ三千を。

一 ゆきのさわぎ。花ゆのけづり。
二 あひのうかく。百敷ち宮。
三 あひのうかく。百敷ち宮。

第四十八 太平の曲

第四十八





第49

月をうおつる

一
月をうおつる。月をうおつる。
ふくらむ煙ゆ。かすりにちりて。

一二三四五六七八。

二
月をうおつる。月をうおつる。

ねぐらの煙ゆ。ねぐらの煙ゆ。

一二三四五六七八。

三
漁やさめうて。漁やさめうて。

姑蘇城をうる。姑蘇城をうる。

一二三四五六七八。

K1107

明治十六年三月二十八日出版局

文部省藏版权所有

定價金六錢

學
問
集

學
問
集

